

## 「オールとしま」による東京2020大会に向けた取り組みについて

### 1 「オールとしま」による取り組み

- 東京2020大会の開催まで163日となり、組織委員会と東京都によるイベントなどが具体化
- 豊島区においても、オリンピック・パラリンピックの聖火リレーや池袋西口公園のライブサイトなど、「オールとしま」の取り組みが必要
- 昨年9月に「東京2020大会豊島区民連携会議」（以下「区民連携会議」）を設置し、区民との情報共有体制を整備してきたが、さらに庁内体制も強化して、東京2020大会に向けた準備を加速

#### (1) 東京2020大会豊島区民連携会議

##### ①目的

- 区民、関係団体、区が情報共有を図りながら、一体となって「オールとしま」で大会に取り組み、意義深いレガシーとしていく

##### ②体制

- 区長を会長として、副会長に副区長、教育長、豊島区体育協会会長、顧問に区議会議長及び副議長
- 委員には、体育協会、レクリエーション協会、スポーツ推進委員、町会連合会、東京商工会議所、商店街連合会、産業協会、法人会、観光協会、民生委員・児童委員会、高齢者クラブ、障害者団体連合会、青少年育成委員会、PTA、大学、ホストタウン、鉄道事業者、警察・消防

#### (2) 東京2020大会豊島区推進本部

##### ①目的

- 大会の準備を効果的かつ着実に推進し、庁内が一体となって「オールとしま」による取り組みを実現

##### ②体制

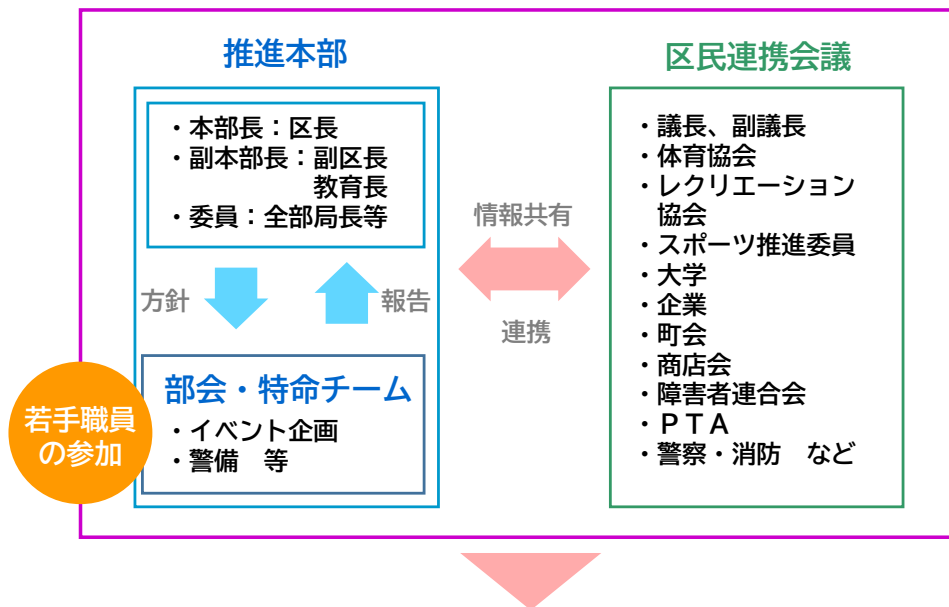
- 区長を本部長として、副区長、教育長、全部局長などで構成する「東京2020大会豊島区推進本部」（以下「推進本部」）を設置し、区の方針等を決定
- 推進本部のもとに、部会及び若手職員特命チームなどを設置し、具体的な施策やアイデアなどを検討し、検討内容を推進本部へ報告

＜現時点での部会及び若手職員特命チーム＞

- 警備部会（危機管理監、区職員、地域ボランティア）  
ライブサイト周辺等の警備（警備員の確保、案内誘導・交通整理、ボランティアの募集・管理等）
- 若手職員による聖火リレー・ライブサイト支援チーム（検討中）

- 推進本部で決定した内容は、区民連携会議等に報告し、区民や地域団体、企業、大学などと情報共有を図りながら、連携して実施

### 「オールとしま」による東京2020大会の推進



聖火リレー・ライブサイトイベント、ライブサイト周辺の警備など  
「オールとしま」で実施